

# Market Watching

発表日:2020年8月24日(月)

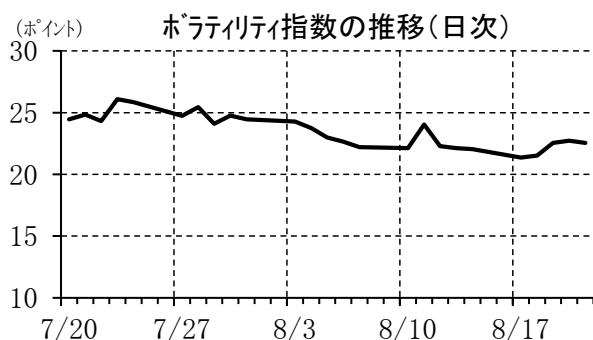
感染が消費者の景況感に与える影響に変化出るか(マーケットウィークリー)  
～新型コロナウイルスに対する慣れが生じれば、消費回復に力強さも～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

## 【先週の市場動向】

### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
8月17日(月)	日本:実質GDP(4-6月・一次速報)	▲27.8%	▲27.0%	▲2.2%	前期比年率
	米国:NY連銀製造業景気指数(8月)	+3.7	+14.5	+17.2	ポイント
8月18日(火)	米国:住宅着工件数(7月)	149.6	123.0	118.6	万件
8月19日(水)	日本:機械受注統計(6月)・船電除く民需	▲22.5%	▲17.6%	▲16.3%	前年比
	日本:貿易統計(7月)・輸出	▲19.2%	▲20.5%	▲28.2%	前年比
	・輸入	▲22.3%	▲23.0%	▲14.4%	前年比
	・貿易収支	+116	▲715	▲2,693	億円
	インドネシア:金融政策決定会合	4.00%	4.00%	4.00%	7日物リバースポ金利
8月20日(木)	フィリピン:金融政策決定会合	2.25%	2.625%	2.25%	翌日物リバースポ金利
	トルコ:金融政策委員会	8.25%	8.00%	8.25%	1週間物レボ金利
	米国:フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(8月)	+17.2	+21.0	+24.1	ポイント
	米国:新規失業保険申請件数(8/15終了週)	1,106	920	963	千件
8月21日(金)	日本:全国消費者物価指数(7月)・総合	+0.3%	+0.3%	+0.1%	前年比
	・除生鮮食品	0.0%	+0.1%	0.0%	前年比
	日本:全国百貨店売上高(7月)・店舗数調整後	▲20.3%	—	▲19.1%	前年比
	日本:PMI製造業景気指数(8月)	46.6	—	45.2	ポイント
	PMIサービス業景気指数(8月)	45.0	—	45.4	ポイント
	英国:小売売上高(7月)・除自動車燃料	+2.0%	+0.2%	+13.5%	前月比
	ユーロ:PMI製造業景気指数(8月)	51.7	52.4	51.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数(8月)	50.1	54.6	54.7	ポイント
	米国:PMI製造業景気指数(8月)	53.6	51.5	50.9	ポイント
	PMIサービス業景気指数(8月)	54.8	50.9	50.0	ポイント
	米国:中古住宅販売件数(7月)	586	530	472	万件
8月22日(土)	—				
8月23日(日)	—				



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.628	▲8.1	+0.2	▲143.0	0.137	0.159	0.705
日本	0.030	▲1.5	+2.0	+27.0	0.020	0.014	-0.015
ドイツ	-0.507	▲8.6	▲4.7	+16.3	-0.488	-0.453	-0.410
豪州	0.879	▲5.4	+1.6	▲5.3	0.868	0.900	0.976
株価							
NYダウ	27930.33	▲0.0	+4.1	+6.6	27187	26135	26250
日経平均	22920.30	▲1.6	+0.2	+11.2	22689	22203	21917
ユーロSTOXX50	3259.75	▲1.4	▲4.3	▲4.0	3298	3209	3313
上海総合	3380.68	+0.6	+1.8	+17.4	3338	3120	2994
為替相場							
ドル/円	105.80	▲0.8	▲0.9	▲0.8	106.04	107.00	108.05
ユーロ/円	124.81	▲1.1	+1.4	+5.6	124.69	121.64	120.38
豪ドル/円	75.76	▲0.9	▲0.5	+4.8	75.90	74.10	72.61
ユーロ/ドル	1.1797	▲0.4	+2.3	+6.4	1.176	1.137	1.114
商品市況							
WTI	42.34	+0.8	+0.9	▲24.0	41.73	38.39	41.48
金	1934.6	▲0.1	+4.9	+28.6	1948	1817	1670

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (8/17~8/21) の金融市場は、世界的に株価は軟調な推移となる一方、債券利回りは低下した国が目立った。米国では、NYダウが前週末比小幅安となって越週した一方、SP500 指数は過去最高値を更新するなど、個別毎にパフォーマンスに大きな差が出た。前週に続いて米中関係の悪化に対する懸念や、欧州での感染者の増加傾向などが株価の頭を抑えた。7月分のFOMC議事録で、感染動向次第とする景気に対する慎重な見方が明らかとなったことも、市場のセンチメントにはマイナス材料となった。一方で、米国では新規感染者数が減少傾向を辿り始めており、足元の景気に対しても再失速懸念が少ないことで、景気全体に対する警戒感は薄らぐ傾向が続いた。

今週のマーケットは、経済指標では市場の注目度が特別高い材料はなく、景況感自体に大きな変化が出ることはなさそうだ。ただし、米景気に関しては、回復が遅れている消費者信頼感 (25日発表) と、前週に再び増加した失業保険新規申請件数 (27日発表) が先行きの回復力を見極める上では重要なポイントだ。景気の回復力に直結するのは消費だが、その消費を左右するのは①雇用・所得環境、②消費意欲の二つである。①に関しては、足元では雇用の回復は徐々に鈍化している一方で、所得を補っているのが給付金や失業保険の積み増しで、専ら給付金などの政策支援に頼っている側面が大きい。一方、②に関しては、雇用の回復の遅れと感染の沈静化の遅れが消費者のマインド改善を抑制している。①と②に共通する雇用に関しては、消費の回復による企業の売上の増加に頼る部分が大きい。結局のところ、景気回復ペースの加速を期待するには、政府の対策と感染の沈静化が必要条件となるわけだが、特に新型コロナウイルスが消費者のセンチメントに与える影響は、ここ数ヶ月を見る限りそれなりに大きいようだ。もっとも、“慣れ”によって影響度が小さくなる可能性もあり、そうした変化が見られるかどうか注目される。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
8月24日(月)	—				
8月25日(火)	ドイツ：ifo景気動向指数（8月）	★★	92.2	90.5	ポイント
	米国：S&P500ブレイクポイント住宅価格指数・20都市（6月）		+3.6%	+3.7%	前年比
	米国：FHFA住宅価格指数（6月）		+0.4%	▲0.3%	前月比
	米国：消費者信頼感指数（8月）	★★★	93.2	92.6	ポイント
	米国：リッチモンド連銀製造業指数（8月）	★	+10.0	+10.0	ポイント
	米国：新築住宅販売件数（8月）	★	76.6	77.6	万件
8月26日(水)	米国：製造業受注（7月）・耐久財 ・非国防資本財（除航空機）	★★★	+4.0%	+7.6%	前月比
			+1.7%	+3.4%	前月比
8月27日(木)	米国：新規失業保険申請件数（8/15終了週）	★★★	1,000	1,106	千件
	米国：実質GDP改定値（4-6月期）	★	▲32.5%	▲32.9%	前期比年率
8月28日(金)	日本：都区部消費者物価指数（8月）・総合 ・除生鮮食品		+0.6%	+0.6%	前年比
			+0.3%	+0.4%	前年比
	米国：個人所得支出統計（7月）・実質個人消費 ・PCEコアフレート	★★★	+1.3%	+5.2%	前月比
			+1.0%	+0.8%	前年比
	米国：シカゴ地区PMI（8月）	★★	52.5	51.9	ポイント
8月29日(土)	—				
8月30日(日)	—				

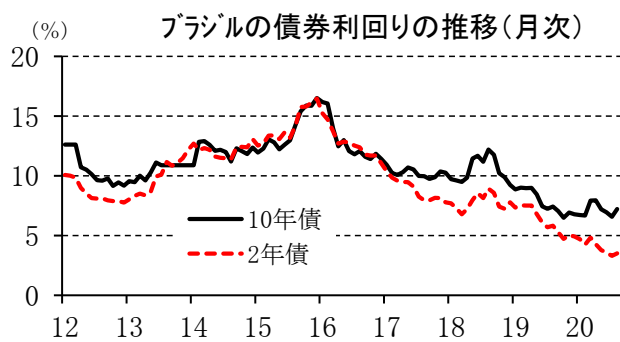
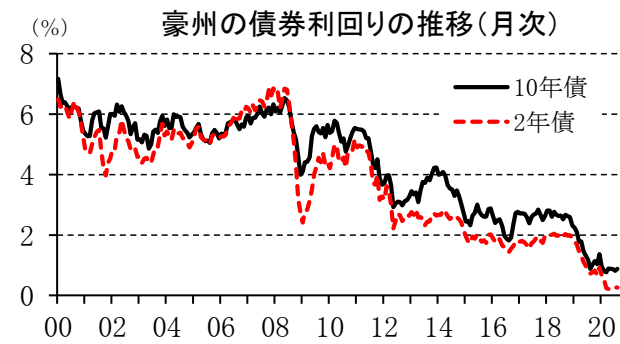
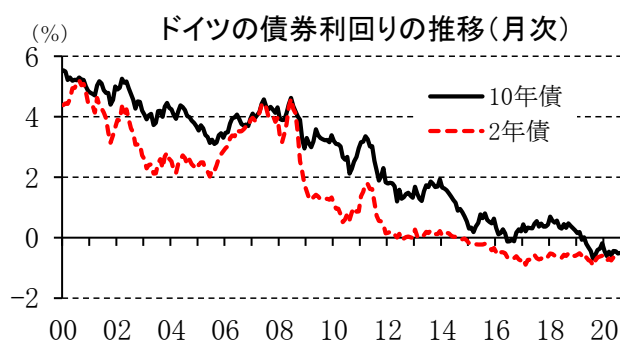
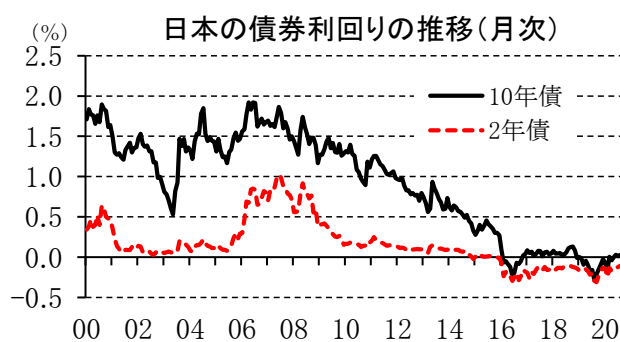
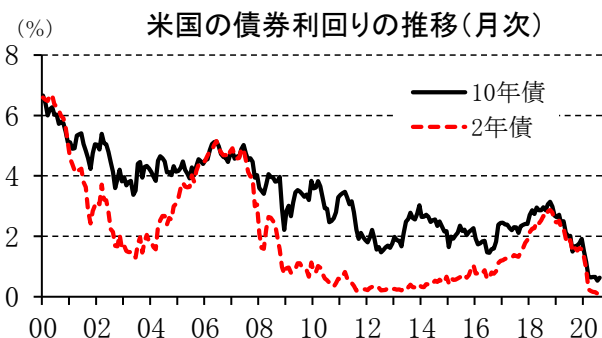
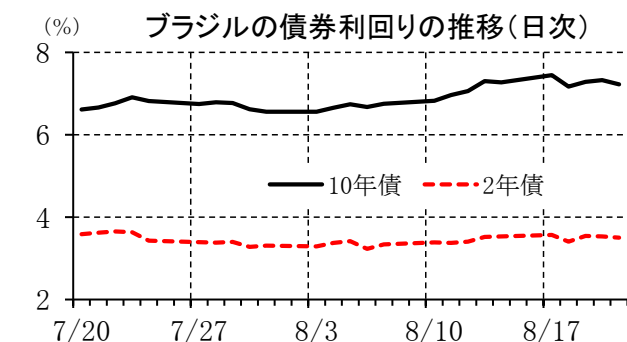
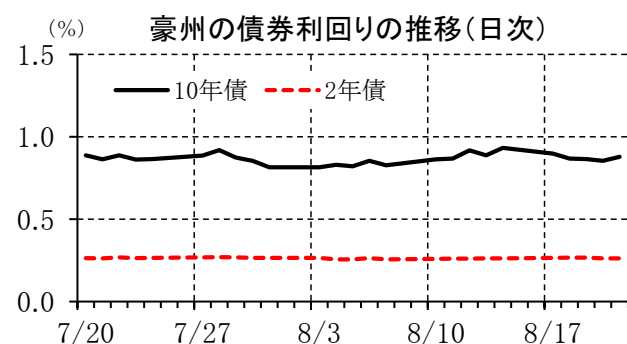
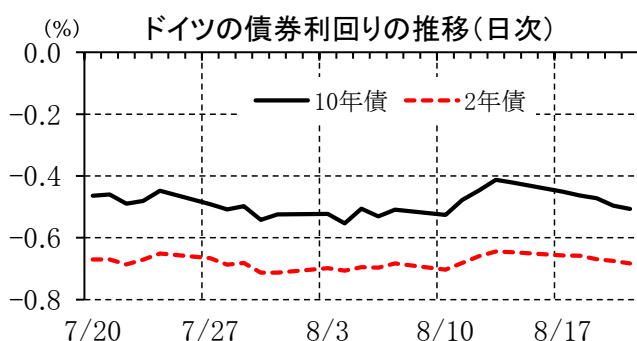
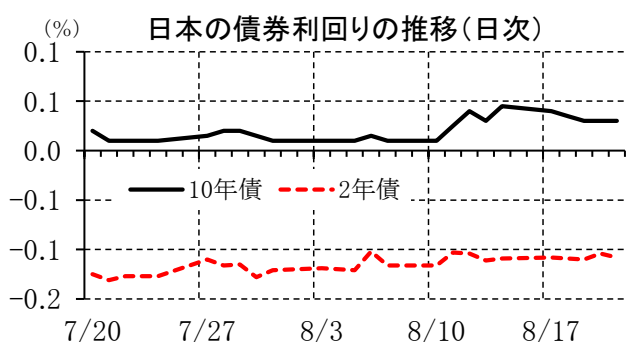
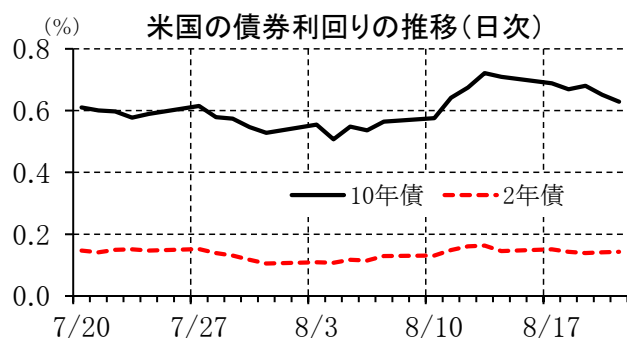
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

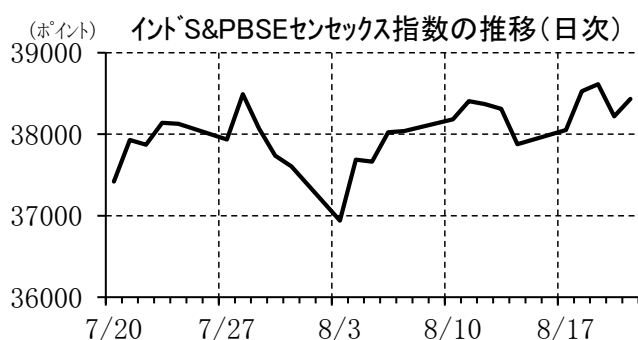
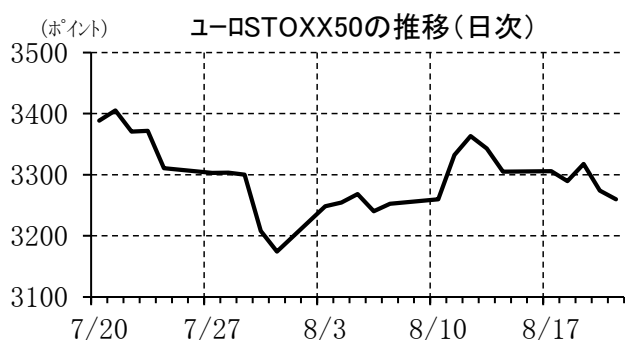
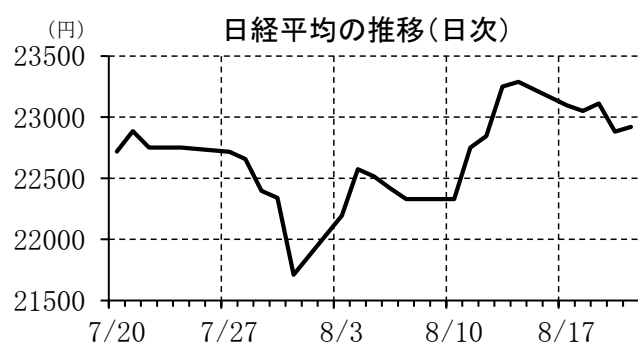
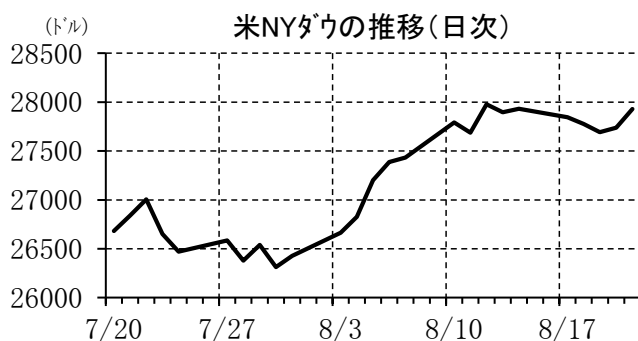
発表日	イベント	注目度	備考
8月24日(月)	米国：共和党全国大会（～8/27）	★	
8月25日(火)	—		
8月26日(水)	—		
8月27日(木)	日本：月例経済報告 米国：ジャクソンホール会議	★★★	
8月28日(金)	—		
8月29日(土)	—		
8月30日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

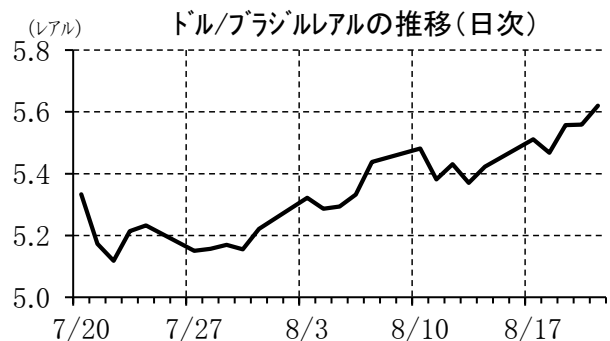
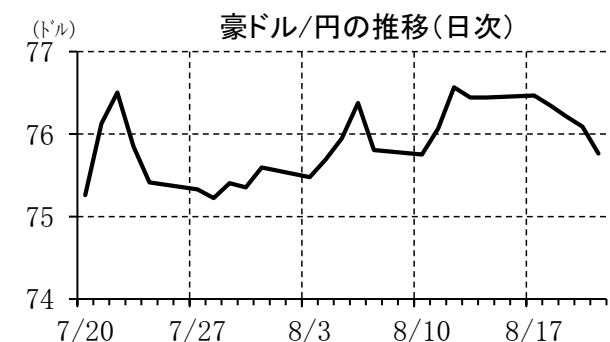
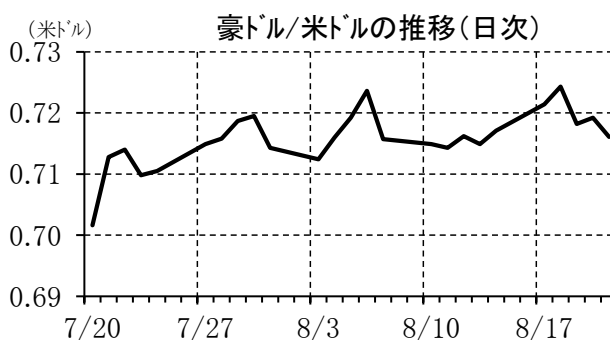
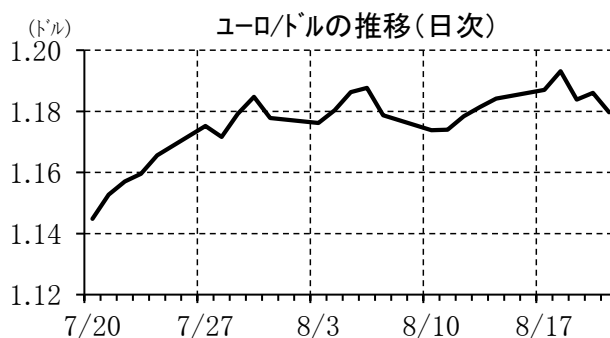
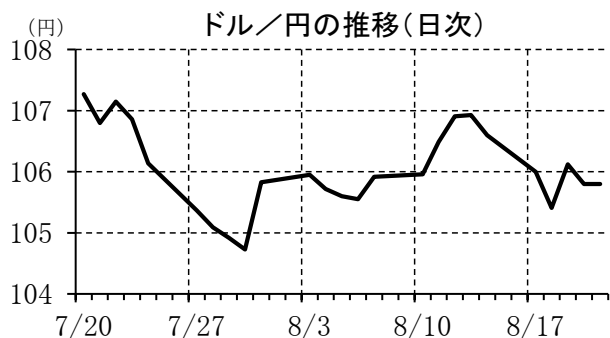
## 【債券利回り】



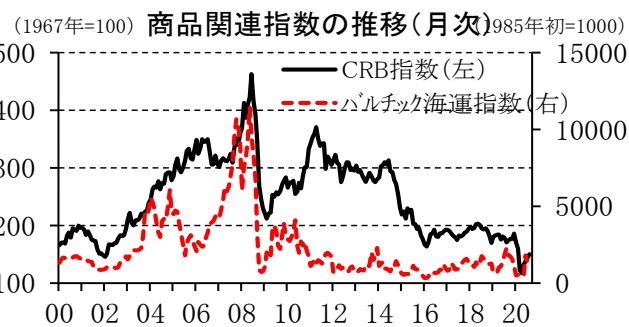
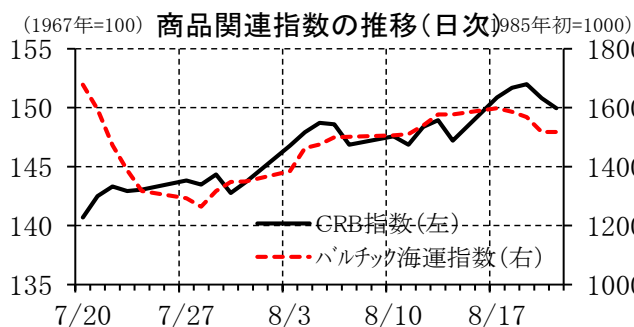
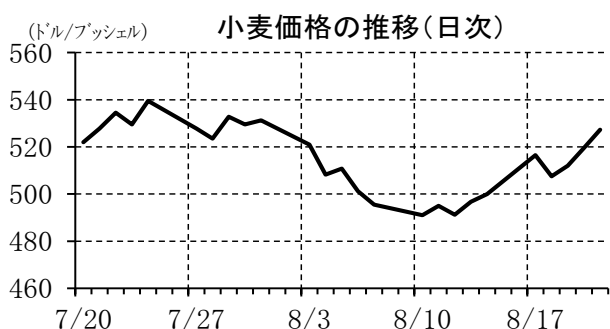
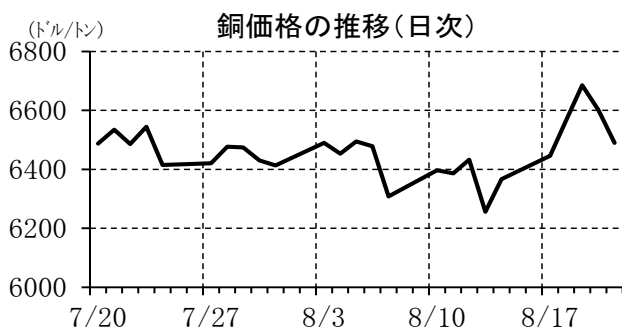
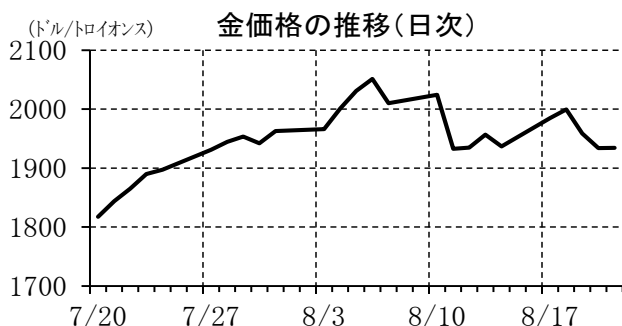
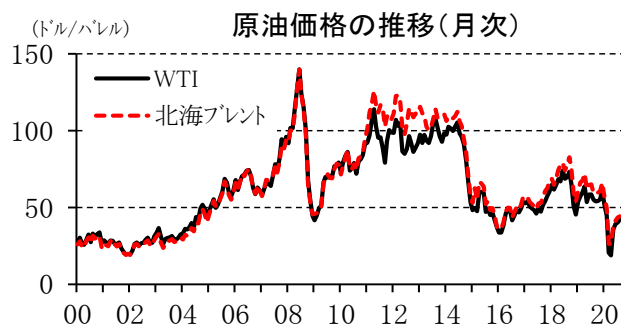
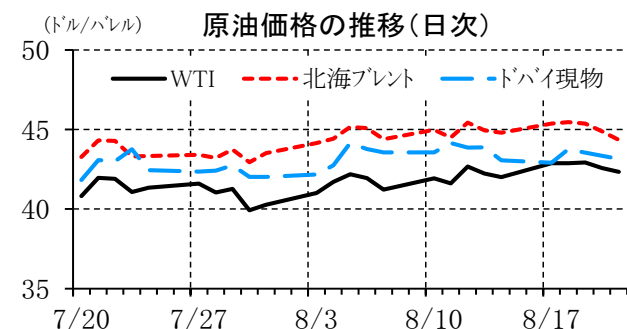
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

